

子どもの未来を支える里親基金

里親賛助会員の皆さまへ

2024年10月に設立した「子どもの未来を支える里親基金」も1周年を迎えることが出来、設立からの1年を報告させていただければと思います。本基金は当法人でこれまで出逢い、関わってきた子ども達の中で、どうしても制度からこぼれ落ちてしまい、支援が難しかったこと、大人の都合で子ども達にはどうしようも出来ないこと、そんな子ども達との出逢いの中で、子どもや若者が少しでも未来に希望を持ち、「今」を諦めずに生きていけるよう設立しました。

例えば・・・

ひとり親であった母が癌で亡くなり、生前はひとり親を対象にしたホームヘルパーを使って掃除や料理に来てもらっていたが、ひとりがゼロになったらなんの支援も入らなくなり、家庭の中が荒れていった。



幼少期から虐待を受けており、怖くて誰にも言えず耐えていたが、高校3年生の時に命を絶とうと家出、友人が保護してくれたが、18歳になっていたので児童相談所も介入できず、住む場所がどこもなくなった。

お母さんは1人で遅くまで働いていて、きょうだいも多いし、夏休みにどこか泊まりに行きたいなんて言えない・・・



そして、昨年10月に本基金を設立、制度や法律の狭間で支援が難しい子ども・若者へ適切な支援を行うために、役員の他に弁護士・司法書士・税理士・行政書士の方に専門家チームとして助言をいただける体制を取り、役員含めてボランティアで運営を行っています。



With優 × 専門家チーム

子どもの未来を支える里親基金

本基金は個人・法人の里親賛助会員の会費を中心に運営しており、その他に単発での寄付、募金収入があります。1年間の里親賛助会員の方からの会費収入は1,853,000円、単発での寄付収入は866,000円、募金収入は407,646円の計3,126,646円の収入がありました。裏面に決算書も掲載しておりますのでご確認いただければ幸いです。

本基金にて給付をさせていただいたケースの報告をさせていただきます。

case 1 経済的な理由で修学旅行を諦めかけていた高校生

本件は置賜管内の高校の先生より相談があり、本人と母と面談。本人は不登校傾向にあり、且つ世帯の急激な所得の減少に伴い、差し迫った修学旅行の積み立てを払うことが出来ない状況でした。本人はもう学校も辞めて働く、と自暴自棄になっているような所もありましたが、本基金で修学旅行に必要な資金をサポートし、修学旅行に行くことが出来、その後も学校にも行けるようになり、進級、現在も学校の先生と連携しながら見守っています。

3万円の給付

case 2 生活保護を受給しており遠出する機会のない小学生

本件は生活保護を受給しており、不登校状態にある兄弟が「海で魚釣りをしてみたい!」という声を実現するため、その旅費等に基金の補助を充当させていただき、海で魚や蟹釣りがすることが出来ました。釣った魚や蟹は自宅で母と調理して食べて美味しかったと喜んでいました。

13,000円の給付

case 3 経済的な理由でフリースクールの修学旅行に行くことを諦めかけていた高校生

本件は、令和6年度にフリースクールに通う高校生2名（1名は生活保護世帯）が令和7年度には高校生3名（生活保護・ネグレクト状態にある子含む）が経済的な理由で修学旅行に行くことを諦めかけていたので、本基金の利用を促し、修学旅行に行くことが出来ました。

R6年度 4万円の給付

R7年度 9万円の給付



里親賛助会員の方へ、
今回修学旅行に必要な資金について支援して下さい本当にありがとうございます。
支援して下さいのおかげでクラスの仲間達との仲をこの修学旅行でより深められたと思います。
私は教員を目指していますが、クラスになじみにくい今の私のような子供により恵まれているような教員になれるようにこれから仲間と一緒に頑張ります。
今回は本当にありがとうございます。



わいを釣ったのが
たのしかったので
ありがとうございます

今まで、お金に余裕が無く旅行などもめったに行けませんでした。里親基金のおかげで不自由せずに、フリースクールのみんなと旅行に行くことが出来ました。初めて水族館や遊園地を見たり乗ったりできて本当に楽しかったです。自分の中でも良い思い出になりましたし非常に感謝しています。
ありがとうございます。

基金を使わせていただいたことで修学旅行に行くことが出来ました。修学旅行では浅草寺に行ってお参りしたり、花やしきに行ってたくさん乗り物に乗ることが出来ました。基金があったら、修学旅行に行くことが出来ます。楽しめたと思います。基金を使わせていただいたおかげでとても楽しい修学旅行になりました。本当にありがとうございました。

支援してくださった皆さまへ
最初、この修学旅行のお話聞いたとき正直行きたかったのですが、家計的に厳しいと断念しようとした時に里親基金のお話をいただきまして、行くことができました。中学校の修学旅行では、楽しいより窮乏と感じる場面が多かったのですが、フリースクールの修学旅行では初めて心から楽しいと思えた修学旅行でした。今度旅行に行けたのも皆様ののおかげです。本当にありがとうございます。

基金のおかげで、東京に行くという貴重な経験が出来ました。花やしきでは、たくさん笑って、心から楽しむことが出来ました。今の私の家計の状況では、東京に行くことが出来なかったら、基金を頂けて本当に良かったです。ありがとうございます。

里親基金のおかげで東京では、浅草の綺麗な建物が見れたり、上野動物園では動物たちに癒されたり、秋葉原や池袋では好きなキャラクターのグッズを買いました。三者三様の魅力を満喫できたことに感謝しています。本当に楽しい体験が出来ました。ありがとうございます。

表面に続いて本基金にて給付をさせていただいたケースの報告をさせていただきます。

case 4 募金を活用した夏休み中に宿泊に行く機会のない子ども達のイベント

夏休みに経済的な理由等で宿泊する機会のない子どもを対象に1泊2日で飯豊町の白川荘に宿泊するイベントを開催、14名の小中高生が参加しました。夏休みの日記に何も書けない子、初めて旅館に泊まる子、エアコンが家にない子等、様々な生活環境の子ども達がおりましたが、外遊びの後に旅館でエアコンが効いた部屋にふかふかの布団が敷いてあることに興奮してダイブしたり、1人1膳ずつ準備された夜ご飯にも大興奮で、素敵な夏の思い出を作ることが出来ました。カブト虫も20匹以上採れたし、花火も楽しみました!!



194,817円
の給付

case 5 夏休み中にどこにも行く機会がなかった中学生のためのイベント

不登校状態にあり、且つ経済的な理由もあって夏休み中にどこにも行く機会がなかった中学生2名を対象に海に泊まりに行くイベントを開催しました。初めての加茂水族館、そしてアパートで生活しているのでなかなか出来ないBBQ、焼いた秋刀魚を初めて食べるという子もいました。参加した子の中には経済的な理由もあって中学校の修学旅行に行かないことを決めた子もあり、結果的にこのイベントを彼女の修学旅行にしようと2日目もその子が好きな猫カフェに行ったり、楽しむことが出来ました。



4万円
の給付



基金のおかげで海に宿泊に行く事が、出来ました。私は普段遠くに出掛けることがあまりなくて、今回海に行けて良かったです。特に思い出に残るのは、夜にきもを試した事。私は今年受験なので受かるように元気張りたいと思います。ありがとうございました。

基金のおかげで楽しく海に宿泊体験することが出来ました。私は普段家から外へ出ないので、このような体験できて本当に楽しかったです。良い思い出になりました。とくに海の家でみんなでバーベキューしたり、海周辺をお散歩したりなどかたごとも楽しかったです!! このような楽しい時間思い出を作らせていただきありがとうございました。

case 6 親を頼ることが出来ない大学生への支援

NPO 法人 Sisterhood からの相談・支援依頼で連携、パソコンも持っていなかったのでSNSでパソコンの寄付も募り本人に渡しました。

20万円
の給付

大学生からのメッセージ

このたびは温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。私は親からの虐待が原因で、急遽家を出ざるを得なくなり、生活費や学費をすべて自分で工面しながら大学に通っています。学業とアルバイトを両立し、なんとか生活を続けておりますが、精神的にも体力的にも限界を感じる事がありました。

そんな中、『子どもの未来を支える里親基金』からのご支援を受けられたことは、本当に大きな支えとなりました。いただいたご支援のおかげで、納入期限が迫っていた学費の振り込みや、学業に必要な教材や生活必需品を安心してそろえることができ、勉強に集中する時間を確保で

きるようになりました。

私はこれまで、頼れる大人も身近におらず、孤独や不安を抱えながら過ごしてきましたが、見えないところで応援してくださる方がいることを知り、心が温かくなりました。支えてくださる方々がいることが、私にとって大きな励みとなり、「これからも頑張ろう」と前を向く力を貰っております。来春には大学を卒業し、保育士という夢を叶え、新たな一歩を踏み出す予定です。今回のご支援を決して無駄にせず、私自身がこれから会う子どもたちや困難を抱える人を支えられるような存在になりたいと強く思っています。本当にありがとうございました。

子どもの未来を支える里親基金

2024.11.1～2025.10.31

1. 収入の部 (単位：円)

項目	金額	備考
里親賛助会員 会費収入	1,853,000	
募金収入	407,646	
寄付収入	866,000	
利息収入	1,374	
合計	3,128,020	—

2. 支出の部 (単位：円)

項目	金額	備考
給付費	607,817	
契約・FB 振替料	43,835	
消耗品費	27,975	
郵送費	27,500	
コピー代	8,050	
ホームページドメイン更新費	15,078	
振込手数料	1,650	
合計	731,905	—

3. 次年度繰越金 2,396,115 円

上記の通り、会計報告致します。

令和7年11月4日

子どもの未来を支える里親基金

代表 白石祥和

会計 白石里恵

上記会計監査の結果、相違ありません。

令和7年11月4日

監事 伊藤夢人

※押印された原本は事務局で保管しています。

本基金は民間で運営する全国でも珍しい完全給付型の基金です。資本主義経済自体は変わることなく、格差が広がる中、そして、それは子ども達や若者に変えることが出来ない社会です。

小さな基金ですが、1人でも多くの子どもや若者が希望を持ち、そして、「あきらめなくていいんだよ」と声をかけることの出来る社会を目指して引き続きのご支援の程どうぞ宜しくお願い致します。

また、皆さまの周りで新たに会員になって下さりそうな方がいらっしゃればお声がけいただけると大変有り難いです。今後どうぞ宜しくお願い致します。

子どもの未来を支える里親基金 代表 白石祥和